

# 第1章

# コミュニティ

## 参加とふれあいで成り立つ コミュニティをめざします

### 第1節 地域コミュニティ

人と人とのつながりがあり、  
住み続けたいと思えるまち

- 1-1-1 地域コミュニティの醸成
- 1-1-2 地域コミュニティの支援

### 第2節 市民活動

地域と行政が協力・連携した、  
さまざまな市民活動に参加しやすいまち

- 1-2-1 市民活動の支援
- 1-2-2 市民活動団体相互の連携と市との連携の強化

### 第3節 人権尊重社会

市民一人ひとりの人権意識が高く、  
誰もが尊厳を持って暮らせるまち

- 1-3-1 多様化する人権問題への取り組みの充実
- 1-3-2 人権尊重のための人づくりの推進
- 1-3-3 ユニバーサルデザインの推進

### 第4節 男女共同参画社会

男女が性別にかかわることなく、  
自分らしい生き方が受け入れられるまち

- 1-4-1 男女の人権尊重の推進
- 1-4-2 男女共同参画意識の醸成
- 1-4-3 あらゆる分野での男女共同参画の促進
- 1-4-4 多様な生き方が受け入れられる環境づくり

### 第5節 国際社会

外国人に対する理解を深め、  
多文化共生の意識を育めるまち

- 1-5-1 外国籍市民が暮らしやすい環境づくり
- 1-5-2 多文化共生の意識を育む環境づくり
- 1-5-3 国際交流活動の推進



## 分野別の主な計画

計画名	計画期間	計画概要
ユニバーサルデザイン 推進基本方針 (企画総務課)	平成19(2007)年度 ～ ※平成23(2011)年 度改定	平等で差別のない、人にやさしいまちづくりを推進し、今後も継続性をもってユニバーサルデザインの取り組みを推進していくための方針です。
第3次所沢市 男女共同参画計画 (企画総務課)	平成23(2011)年度 ～平成30(2018)年 度の8年	男女が社会の対等なパートナーとして、それぞれが個性と能力を十分に発揮し、社会のあらゆる分野の活動に参画し、ともに責任を担う男女共同参画社会の実現に向けた施策を総合的に推進するための計画です。



ふらっと祭り  
(男女共同参画推進センターふらっと)



自治会・町内会での避難所訓練



第1節

# 地域コミュニティ

人と人とのつながりがあり、住み続けたいと思えるまち

## 現状・これまでの主な取り組み

- 自治会・町内会※の加入率は減少傾向にあり、会員の高齢化に伴う役員の固定化、担い手不足などの問題が生じています。
- 地域コミュニティの活動拠点として、平成23年4月にまちづくりセンターを市内11地区に開設し、各地区における地域づくり協議会の設立に向け支援を行っており、平成26年7月末現在、5地区（山口・三ヶ島・小手指・松井・新所沢）に設立されています。
- 自治会・町内会への加入と参加の促進を図るため、「所沢市地域がつながる元気な自治会等応援条例」を制定しました。



自治会・町内会を中心とした防災訓練

## 課題

- 地域コミュニティの醸成を促進するため、拠点としてのまちづくりセンターのさらなる充実が必要です。
- 地域ネットワーク※の構築を進めるとともに、地域課題の解決に向けた自発的な取り組みが必要です。
- 行政、事業者、自治会・町内会が一体となって、自治会・町内会への参加や加入率の向上を図ることが必要です。

### 自治会・町内会



地域で起きる課題には、個人や家庭だけで解決することが困難なものがたくさんあります。ご近所同士で力を合わせ、さまざまな活動や取り組みを通じて課題の解決を図ることで、会員同士の親睦も深まり、暮らしへの安心感も高まります。東日本大震災の時には、日頃からの絆づくりが大変大きな力を発揮した例がたくさん報告されています。

おつきあいの輪を広げる地域の主人公は、そこに暮らす人々です。そして、同じ地域に住んでいる人々が、仲良く助け合って暮らしていこうとする考え方は、昔も今も変わりません。

所沢市は、自治会・町内会への加入と参加を進め、つながり支え合うまちを実現しようと「**所沢市地域がつながる元気な自治会等応援条例**」を制定し、**自治会・町内会を応援しています。**

「遠くの親戚より近くの他人」とよくいいますが、『いざ』というときには、お隣さんや近所の人たちが一番頼りになるものです。ぜひ、自治会・町内会に加入しましょう！

※自治会・町内会…所沢の自治会・町内会の名称には、このほか「町会」や「区」などがあります。

※地域ネットワーク…自治会・町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体が連携し、地域が抱える問題や課題を発見してその解決に取り組むつながりのこと。



## 基本方針

### ◆1-1-1

#### 地域コミュニティの醸成

地域コミュニティを支援する拠点として、まちづくりセンターの充実を図るとともに、人材の育成、効率的な組織運営に努めます。

また、地域のさまざまな活動主体の連携により課題の解決に取り組む地域ネットワークを構築します。



### ◆1-1-2

#### 地域コミュニティの支援

自治会・町内会への加入と参加の促進を図るとともに、さまざまな活動主体と協働して自治会・町内会を支援します。

また、さまざまな機会を通して、市民の地域への関心が高まるよう努めるとともに、地域に関する情報が共有されるよう働きかけを行います。

さらに、まちづくりセンター・コミュニティセンターの維持管理及び地域集会施設にかかる助成など、地域コミュニティ活動の拠点の整備に努めます。

三ヶ島地区の地域づくり協議会  
高齢者を対象に交通安全講習会を開催

## 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
			H25	H27	H28	H29	H30	
地域づくり協議会※により実施された事業数	事業	H25	H27	H28	H29	H30	➔	
		7	33	38	43	48		

説明：地域コミュニティの醸成度合いを示す指標です。  
現状値は、平成25年度に地域づくり協議会主催で実施された事業数です。  
目標値は、毎年度5事業の増加をめざすものです。

関連する基本方針 1-1-1

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
			H25	H27	H28	H29	H30	
自治会・町内会への加入率	%	H25	H27	H28	H29	H30	➔	
		64.8	66.0	67.0	68.0	69.0		

説明：地域コミュニティに対する支援の成果を測る指標です。  
現状値は、平成25年度の自治会・町内会に加入している世帯の割合です。  
目標値は、毎年度1ポイントの増加をめざすものです。

関連する基本方針 1-1-2

※地域づくり協議会…市内の11行政区において、地域ネットワークを構築する組織体のこと。



第2節

# 市民活動

地域と行政が協力・連携した、  
さまざまな市民活動に参加しやすいまち

## 現状・これまでの主な取り組み

- 市民活動支援センターが平成23年10月に開設されました。
- 市民活動団体が市民活動に関する有益な情報を、市民活動支援システム「ところんWeb<sup>※</sup>」により収集・発信できるようになりました。
- 市民活動総合補償制度<sup>※</sup>により、市民が安心してボランティア<sup>※</sup>活動や地域活動に取り組めるようになりました。
- アダプト・プログラムにより、環境美化活動が促進されています。



市民活動支援センター(所沢市緑町)

## 課題

- 団体間の交流をより促進し、市民が市民活動の情報をさらに得やすくするため、「ところんWeb」の利用拡大を図ることが必要です。
- 市民活動団体が、引き続き安心して市民活動に取り組むことができるよう支援することが必要です。
- 市民活動支援センターでは、市民活動団体相互の連携や、市との協働を促進する機能がより一層求められています。



「ところんWeb」のトップページ画面



市民フェスティバル(所沢航空記念公園)

※ところんWeb…市民活動支援センターに登録されている市民活動団体の情報を検索することができ、活動団体は自身の情報を発信することができるWEBサイト。

※市民活動総合保障制度…市民が安心してボランティア活動や地域活動を行えるよう、活動拠点が市内にある団体等の公益活動中に起きた事故に対し、市があらかじめ保険料を負担し、傷害や賠償責任を補償する制度。

※ボランティア…自主的に社会事業などに参加し、無償の奉仕活動をする人。



## 基本方針

### ◆1-2-1

#### 市民活動の支援

市民活動の拠点施設である市民活動支援センターの周知と機能充実に努め、市民の自主的で公益性のある活動を支援します。

また、市民活動支援システム「ところんWeb」の利用拡大を図り、市民活動に関する情報の収集・発信とともに、登録団体間の交流を促進します。

さらに、市民活動総合補償制度により、市民が安心して市民活動に取り組むことができるよう支援するほか、アダプト・プログラムの実施団体の拡大を図ります。

### ◆1-2-2

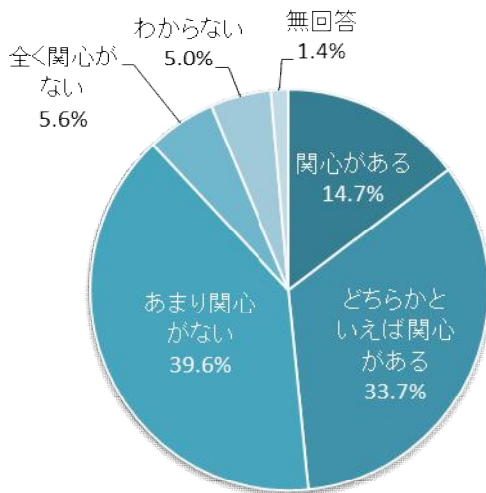
#### 市民活動団体相互の連携と市との連携の強化

市が単独で実施している事業について、市民活動団体との協働を推進します。

また、市民活動団体相互の協働の推進を図るため、情報の提供に努めるとともに、多様な団体の連携をコーディネートできる人材の育成に努めます。

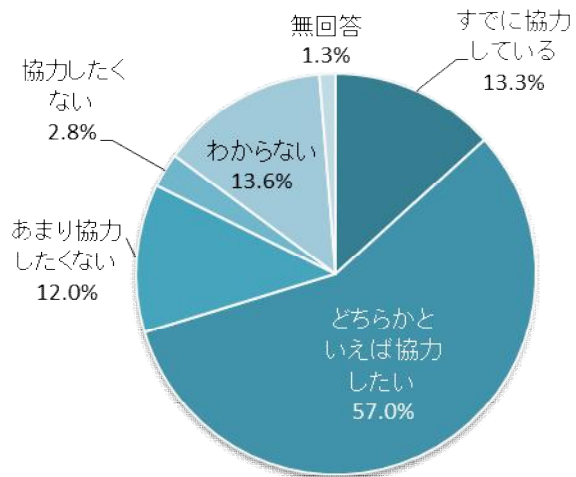


#### ●地域の自治会やボランティア活動等への関心度



#### ●地域活動等への協力意向

(平成25年度市民意識調査)





## 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
			H25	H27	H28	H29	H30	
アダプト・プログラム実施 団体数	団体	H25	H27	H28	H29	H30		
		25	27	28	29	30		

説明：身近な地域活動に取り組む市民活動団体の広がりを示す指標です。  
 現状値は、市が管理する公共施設（道路、公園・緑地、河川・水路等）の清掃美化活動を市と協働で行っている平成25年度の団体数です。  
 目標値は、毎年度1団体の増加をめざすものです。

関連する基本方針 1-2-1

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
			H25	H27	H28	H29	H30	
市民活動支援センター 登録団体数	団体	H25	H27	H28	H29	H30		
		108	138	153	168	183		

説明：公益的な活動を行っている市民活動団体の広がりを示す指標です。  
 現状値は、市民活動支援センターに登録している平成25年度の市民活動団体数です。  
 目標値は、毎年度15団体の増加をめざすものです。

関連する基本方針 1-2-1

指標名	単位	現状値	年度別目標値					維持
			H25	H27	H28	H29	H30	
市民活動支援センターの 利用者満足度	%	H25	H27	H28	H29	H30		
		80	80	80	80	80		

説明：市民活動支援センターの利用者の満足度を示す指標です。  
 現状値は、利用者に対するアンケートで、「市民活動支援センターの事業内容について満足している」と答えた人の割合です。  
 目標値は、毎年度80%以上をめざすものです。



関連する基本方針 1-2-1



教えて！  
ところん

## アダプト・プログラムってなあに？



アダプト (Adopt) とは、「〇〇を養子にする」という意味です。

「アダプト・プログラム」は、道路、公園、緑地、河川などの市が管理する一定区画の公共空間を養子にみだて、市民が里親になって養子の美化や清掃を行い、その活動を市が支援しています。

平成26年12月現在、28の団体が市内各所で活動しています。



## 活動団体の一例はコチラ



- 砂川流域ネットワーク  
所沢西高校西側から、上流・堂入りの池までの延長 4.2km の砂川掘の清掃美化活動
- A P T F 所沢  
小手指町 3 丁目から、小手指町 5 丁目まで約 500m の道路の清掃
- 新所沢 (まち) のつながりをつくる会  
新所沢駅西口から新所沢まちづくりセンターまでの 500m と新所沢駅西口から新所沢東まちづくりセンターまでの 500m の美化活動
- 松が丘環境クリーンパトロール  
松が丘中央通り他松が丘地区内約 2km の道路の清掃美化活動

この他にも多くの団体が元気に活動しています。





第3節

# 人権尊重社会

市民一人ひとりの人権意識が高く、誰もが尊厳を持って暮らせるまち

## 現状・これまでの主な取り組み

- 職員や市内事業者等、幅広い市民を対象として、人権研修会を実施しているほか、多様化する人権問題について相談事業を展開しています。
- 「ユニバーサルデザイン推進基本方針」に基づき、公共施設、道路、公共交通などにおいてユニバーサルデザイン\*の取り組みを進めています。
- 「第5次所沢市総合計画前期基本計画」を踏まえ、「ユニバーサルデザイン推進基本方針（改訂版）」を策定しました。



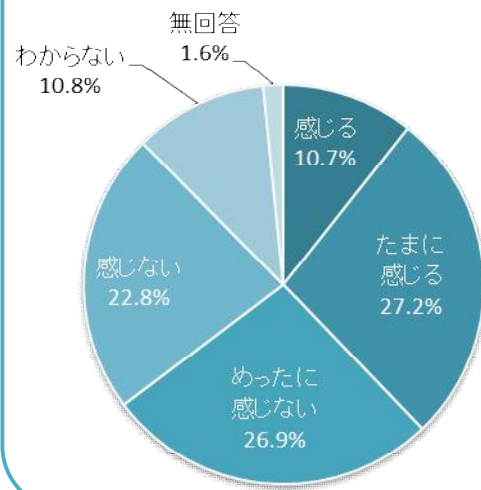
人権フェスティバル

## 課題

- 市民生活の中での差別や偏見の根絶に向け、関係機関や事業者、地域との連携を図りながら取り組むことが重要です。
- 多様化する人権問題を正しく認識する機会の拡大とともに、ユニバーサルデザインの周知や心のユニバーサルデザインの推進を一層進める必要があります。

### ●性別や障害の有無などを理由にした誤解や偏見があると感じる市民の割合

(平成 25 年度市民意識調査)



## 心のユニバーサルデザイン

心のユニバーサルデザインは、基本的人権の尊重を基盤として、人が人として大切にされる**「認め合い思いやる心」**を表すかたちです。

誰もが参加しやすく、暮らしやすい社会をめざして、市・市民、団体、事業者の協働により、すべての人に配慮する、心のユニバーサルデザインを進めます。

\*ユニバーサルデザイン…「基本的人権の尊重」を基本理念として、障害の有無、年齢、性別、国籍、人種などにかかわらず、すべての人が心豊かに暮らせるような社会を創っていかうとする考え方のこと。



## 基本方針

### ◆1-3-1

#### 多様化する人権問題への取り組みの充実

女性・子ども・高齢者・障害者・外国人・同和問題等をはじめ、複雑・多様化する人権問題について、国・県・関係団体等との連携や協力を図り、問題の解決に取り組みます。

### ◆1-3-2

#### 人権尊重のための人づくりの推進

人権問題について、正しい理解や認識を養うため、人権研修会・講演会の開催や啓発資料の配布等の取り組みを進めることで、一人ひとりの人権意識の向上を図ります。

### ◆1-3-3

#### ユニバーサルデザインの推進

誰もが参加しやすく、暮らしやすい社会をつくるための取り組みとして、ユニバーサルデザインのさらなる周知を図ります。

また、心のユニバーサルデザインもあわせて推進します。



ユニバーサルデザインの整備事例

高さの異なる手すりにより、持ちやすい高さの手すりを選ぶことができる



### 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
			H25	H27	H28	H29	H30	
人権の尊重に関する施策への満足度	%	H25	H27	H28	H29	H30	↑	
		32	36	38	40	42		

説明：人権施策にかかる取り組みの市民満足度を測る指標です。

現状値は、平成25年度の市民意識調査の設問「施策の満足度についておうかがいします」の「人権の尊重について」に対し、「満足」「どちらかといえば満足」と答えた人の割合です。

目標値は、毎年度2ポイントの増加をめざすものです。



関連する基本方針 1-3-1、1-3-2

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
			H25	H27	H28	H29	H30	
ユニバーサルデザインの認知度	%	H25	H27	H28	H29	H30	↑	
		49.1	53.0	55.0	57.0	59.0		

説明：ユニバーサルデザインの言葉や意味の認知度を測る指標です。

現状値は、平成25年度のユニバーサルデザインに関するアンケートの設問で、ユニバーサルデザインについて、「言葉も内容も知っている」「言葉は見聞きしたことがある」と答えた人の割合です。

目標値は、毎年度2ポイントの増加をめざすものです。



関連する基本方針 1-3-3



第4節

# 男女共同参画社会

男女が性別にかかわることなく、  
自分らしい生き方が受け入れられるまち

## 現状・これまでの主な取り組み

- 男女共同参画社会\*の推進や経済状況の変化により、性別による役割分担意識は改善されてきていますが、いまだ、長い歴史の中で形成されてきた制度や慣行は残っています。
- 「男女共同参画推進条例」に基づき、各分野において、「性別にかかわらず一人ひとりの人権が尊重される」まちづくりを推進しています。
- 市民参画により、平成22年度に「第3次所沢市男女共同参画計画」を策定しました。
- 男女共同参画推進センター「ふらっと」において、男女共同参画にかかる学習・情報提供・相談・交流の場を提供するとともに、各種事業を実施しています。



パパと子どもの簡単ピザ教室(ふらっと)

## 課題

- DV\*被害者支援と相談窓口の充実・強化が必要です。
- 男女共同参画について多くの人の理解を得るため、あらゆる機会を捉えた意識啓発や参画の促進を図ることが重要です。
- ワークライフバランス\*の推進により、家庭生活と社会活動を両立するための支援が必要です。

## 男女共同参画推進センター「ふらっと」



「ふらっと」とは男女共同参画を推進するために設けられた所沢市の施設です。平成7年に「女性センターふらっと」として誕生し、平成17年に施行された所沢市男女共同参画推進条例により現在の名称「男女共同参画推進センターふらっと」となりました。

「ふらっと」では、一人ひとりの人権が尊重され、男女がもっと自由にお互いの個性を發揮できるような社会づくりをめざし、学習機能（講座・講演会等の実施）、情報機能（図書・ビデオ・資料類の収集・閲覧・貸出）、交流機能（男女共同参画に関する交流の場と機会の提供）、相談機能（法律相談・カウンセリング相談・何でも聞きます相談・電話相談）の4つの機能に沿った取り組みを行っています。

\*男女共同参画社会…男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担う社会のこと。  
 ※DV（ドメスティック・バイオレンス）…配偶者やパートナーなどの親しい間柄での暴力のこと。身体的暴力のみならず、性的暴力や言葉による精神的暴力、生活費を渡さないなどの経済的暴力も含む。  
 ※ワークライフバランス…仕事と生活の調和のことであり、一人ひとりが仕事や家庭生活、余暇、地域生活などをバランスよく行うことにより、人生の各段階において、豊かで充実した生活を無理なく送ることができること。



## 基本方針

### ◆1-4-1

#### 男女の人権尊重の推進

学校や地域において、DVに関する正しい認識の向上と、防止に向けた啓発活動の充実を図ります。

また、関係機関と連携しながら、相談窓口の充実や被害者に対する支援を強化します。

### ◆1-4-3

#### あらゆる分野での男女共同参画の促進

市の政策や民間団体の方針の意思決定過程、地域活動や社会活動など、あらゆる分野での男女共同参画を促進します。

### ◆1-4-2

#### 男女共同参画意識の醸成

学校や家庭、地域など社会のあらゆる分野における教育・啓発を充実することで、性別による固定的な役割分担意識に基づく制度や慣行を見直す機会とし、男女共同参画意識の醸成を図ります。

### ◆1-4-4

#### 多様な生き方が受け入れられる環境づくり

子育て・介護等の家庭生活と社会活動との両立支援について、関係機関と連携しながら実施します。

また、ワークライフバランスが推進されるための環境づくりを支援します。



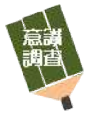
### 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
			H25	H27	H28	H29	H30	
男女共同参画に関する施策への満足度	%	H25	H27	H28	H29	H30		
		27.3	32.5	35.0	37.5	40.0		

説明：男女共同参画にかかる取り組みの市民満足度を測る指標です。

現状値は、平成25年度の市民意識調査の設問「施策の満足度についておうかがいします」の「男女共同参画社会について」に対し、「満足」「どちらかといえば満足」と答えた人の割合です。

目標値は、毎年度2.5ポイントの増加をめざすものです。



関連する基本方針 1-4-1、1-4-2、1-4-3、1-4-4

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
			H25	H27	H28	H29	H30	
審議会等の委員に占める女性の割合	%	H25	H27	H28	H29	H30		
		28.6	33.1	35.4	37.7	40.0		

説明：市の計画等の意思決定に男女が共に参画しているかを測る指標です。

現状値は、平成25年度の審議会等における女性委員の割合です。

目標値は、毎年度2.3ポイントの増加をめざすものです。

関連する基本方針 1-4-3



第5節

# 国際社会

外国人に対する理解を深め、  
多文化共生の意識を育めるまち

## 現状・これまでの主な取り組み

- 外国籍市民が安心して生活できるよう、ボランティアによる生活支援や相談などの支援が行われています。
- 生活習慣や文化の違いなどをわかり合う機会として開催している国際交流フォーラムは、外国籍市民との交流の場として定着しています。
- 外国籍市民に対し、孤立化や疎外感を受けることがないように支援しています。
- 姉妹都市間では、民間レベルでの自主的な交流として、学生交流や文化・芸術交流などを継続的に行っています。



国際交流フォーラム  
(市役所 1 階市民ホール)

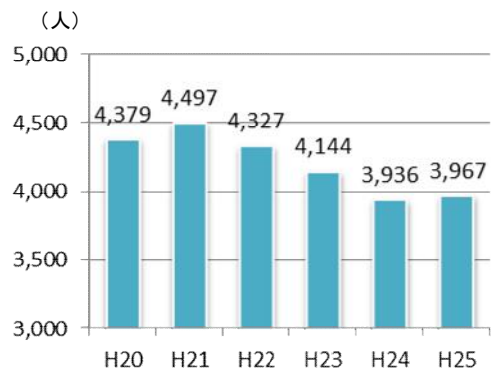
## 課題

- 災害弱者として、外国籍市民への情報提供の充実や方法の工夫が求められています。
- 生活習慣や文化の違いなどを、お互いがわかり合えるような環境づくりが求められています。
- 多文化共生※を推進するため、国際交流の充実が重要です。



### 外国籍市民の推移

(市民課資料、各年3月末現在)



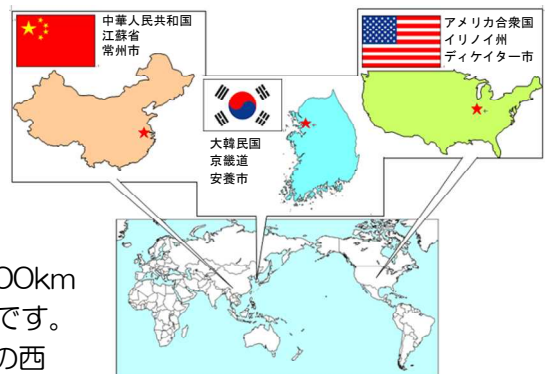
## 姉妹都市

所沢市が最初に姉妹都市になったのは**アメリカのディケイター市**です。

昭和41年のことでした。ディケイター市はシカゴの南約300kmに位置し、とうもろこしや大豆など穀物の生産量が多い都市です。

**中国の常州市**とは平成4年に姉妹都市になりました。上海の西約160kmに位置し、上海経済圏に属する、中国でも有数の経済発展都市です。近年はITや電子機械など近代的な産業が盛んになっています。

最後に姉妹都市となったのは**韓国の安養(あにゃん)市**です。ソウルの南約25kmに位置するベッドタウンで、都市部と郊外の自然の調和のとれた町です。平成10年に姉妹都市になりました。



※多文化共生…国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。



## 基本方針

### ◆1-5-1 外国籍市民が暮らしやすい 環境づくり

言葉や生活習慣の違いなどから日常生活や災害時に不便を感じないように、外国語による情報誌やホームページによる市政情報の充実を図ります。

また、外国籍市民のための生活上における相談業務の充実に努めます。



姉妹都市学生交流事業

### ◆1-5-2 多文化共生の意識を育む 環境づくり

生活習慣や文化の違いなどをわかり合える交流の場を設けます。

また、外国籍児童生徒・外国籍市民が学校生活や日常生活になじめるよう、日本語習得の支援やカウンセリングに必要な人材の紹介、関連情報の提供などの充実を図ります。

さらに、平和に対する市民意識の高揚に努めます。

### ◆1-5-3 国際交流活動の推進

姉妹都市をはじめとする国々との間で、教育・文化・スポーツ・産業など幅広い分野にわたり、行政と民間団体との交流を推進します。

また、国際友好の推進力となる主体的な民間交流を支援します。

## 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
			H25	H27	H28	H29	H30	
日本語学習支援 ボランティア養成講座の 定員に対する参加率	%	H25	H27	H28	H29	H30		
		48.5	53.1	55.4	57.7	60.0		

説明：外国籍市民に対する理解や活動の広がりを示す指標です。  
現状値は、平成25年度の養成講座の定員に対する参加者の割合です。  
目標値は、毎年度2.3ポイントの増加をめざすものです。

関連する基本方針 1-5-2

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
			H25	H27	H28	H29	H30	
所沢市国際交流フォーラム の参加者数	人	H25	H27	H28	H29	H30		
		370	390	400	410	420		

説明：外国籍市民との交流実績を示す指標です。  
現状値は、平成25年度の国際交流フォーラムのスタッフ等も含めた参加人数です。  
目標値は、毎年度10人の増加をめざすものです。

関連する基本方針 1-5-2

